

第231回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成29年9月11日(月) 11:00~12:00

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 6人
出席委員数 6人

(1) 出席委員の氏名 片山 貴之 (委員長)
君島 理恵 (副委員長)
青木 敬信
早川 富美子
篠田 裕次
小笠原 伸

(2) 放送事業者側出席者 関根 房三 (代表取締役社長)
佐藤 望 (放送部長)
古寺 雄史 (総務部課長)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

8月20日(日曜日)に放送した「ナチュラルリズム」について、試聴と意見交換をおこなった。

事業者：

今回、栃木県の魅力でもある「農業・林業」にスポットを当て、7月から日曜の朝に放送をスタートした25分間の録音番組「ナチュラルリズム」を、ご試聴いただきます。

栃木県で活躍している若手の農業従事者の方々たちを、毎回、ナチュラルリストとして、番組に招いて、その仕事への情熱や苦労話、今後の夢などについてうかがっているトーク番組です。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：

オープニングやエンディングなど、音楽の選曲が全体的に良く、おしゃれな雰囲気を感じられる。

委員：

桶田さんは、パーソナリティとして安定感があり、臆すること無く自然体で話す様子から、放送で話すことに慣れていているように感じられた。

また、桶田さんと同様、今回のゲストの遠藤さんも、話が分かりやすかった。

事業者：

桶田さんは、他局の番組にも出演歴があるため、手慣れているようだ。

農業関係者とは長年、様々な番組での取材を通じて縁が深く、今回のゲストの遠藤さんをはじめ、その話の内容はとても魅力的だ。今後、番組に出演してほしい方も数多く居る。

委員：

最近の農業経営者は、自身をプレゼンテーションする能力を持った方が増えている傾向があり、この番組を通じ、自身の言葉で地域での新しい取り組みを紹介していくことは、イメージアップや、仕事内容への興味・関心をもつきっかけとなり、社会的な意義がある。

放送内容も非常に充実しており、今後、出演したゲストとのトークをまとめて書籍化することも、可能だなと思った。

委員：

番組の後半は遠藤さんが世界一周をした話を放送していたが、これはリスナーにとって興味深い話ではあるものの、やはり、この番組ならではの視点に立ち、より番組のテーマ・趣旨に沿った話からゲストの魅力を引き出し、伝えるべきだったのではないか。

むしろ、前半で話していた遠藤さんの経営するサシバの里自然学校については、もっと詳しく掘り下げて話が聞きたかったし、最終的に安易に放送をまとめてしまった感があり、少し残念だ。

委員：

桶田さんと、そのサポート役の山口さんの役割が曖昧である。

2人とも無難な質問を交互に振るばかりで、ゲストとの会話の中からその魅力を「聞き出して、伝える力」については、やや物足りなさを感じた。

委員：

山口さんは明るい声ではあるが、度々、早口になる癖が気になった。

また、自らが「前に立とう」という意識が強すぎる傾向が感じられる。

もう少し、桶田さんを立てて、自らはそのサポートに徹するような意識をもってほしい。

委員：

桶田さんは上手に話す能力を持ち、また、番組への志も高い。今後は番組のオーナーとしての重みを持って、毎回のゲストの魅力・存在感を番組の趣旨に沿った会話の中から引き出し、伝えていくことに期待をしたい。

委員：

番組冒頭部分のあくびを想像させる音は無い方がよい。

また、放送時間が限られた中で会話をより充実して伝えるために、曲は2曲かけずに1曲だけにし、その分、トークを長めにしてみてもどうか。

さらに、ゲストを「農業」と「林業」の従事者に限定せずに、「ナチュラルリスト」という大きな括りで選んでいった方が、番組として幅が出せると思う。

(以上)

(2) その他

なし

(3) 次回開催日程について

次回の開催を10月16日(月)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日

なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

(1) 放送 9月24日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内

(2) 書面 本社事務所に備え置き

(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項

なし